

研究課題番号	1G-2001
研究課題名	モビリティ革命が脱炭素化を実現するための条件
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	名古屋大学
研究代表者名	加藤 博和

1. 委員の指摘及び提言概要

技術・サービスのリサイクルプロセスツリーに関する実用性の高いモデル構築ができていること、さらに地域や行動などの要因を含めて統合的なモデル活用に展開できていることなど、総合的に極めて優れた研究成果になっている。CO₂排出量の簡便な評価ツールを構築したことなども高く評価する。本研究のカギはCO₂削減とQOLのTrade off関係であり、QOLを意識した上で交通手段の組み合わせを評価したのは良い成果であるが、様々な新たな交通手段への投資を行えばQOLが上昇するのは当然と考えられる。政策として活用するためには予算制約も考慮すべきと思われる。なお、学術性と政策展開性の両者を兼ね備えた研究であることから、早い時期の国際学術論文展開を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S